

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52105	子ども家庭福祉 Child and Family Welfare	谷村 和秀			2	選択	1前期
科目の概要							
<p>保育者（幼稚園教諭及び保育士）として子どもやその家庭に関わるにあたって、それらの生活実態の変化と福祉ニーズ、子どもの権利条約、子ども家庭福祉に関する法・制度とサービスの体系について、それらの概要を理解する。保育者として獲得した知識を活用し、子どもやその家庭が抱えている課題を発見し、子ども家庭福祉のサービスが結び付けられるようになる。これらの内容は、ディプロマ・ポリシーの①～④・⑥に相当する。</p>							
学修内容				到達目標			
① 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷を理解する ② 子どもの人権擁護について理解する ③ 子ども家庭福祉の制度や実施体系を理解する ④ 子ども家庭福祉の現状と課題を知る ⑤ 子ども家庭福祉の動向と展望を考察する				① 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷について説明できる。(D.P②③④⑥) ② 子どもの人権擁護について説明できる。(D.P①②③④⑥) ③ 子ども家庭福祉の制度や実施体系等について説明できる。(D.P②③④⑥) ④ 子ども家庭福祉の現状と課題について、考察できる。(D.P①③⑥) ⑤ 子ども家庭福祉の動向と展望について、考察できる。(D.P①③⑥)			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	課題を理解するのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	講義を受動的に受けるのではなく、能動的に取り組み、最後までやり遂げることができる。					
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。					
	計画力						
	創造力						
チームで働く力	発信力	講義で学んだことを整理し、内容を的確な文章で表現できる。					
	傾聴力	教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：『みらい×子どもの福祉ボックス 子ども家庭福祉（第2版）』堀場純矢編 みらい 2400円＋税 参考文献：なし							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：社会福祉、社会的養護Ⅰ、子ども家庭支援論、保育実習Ⅰ・Ⅱ、保育実習指導Ⅰ・Ⅱ 施設実習Ⅰ・Ⅱ、施設実習指導Ⅰ・Ⅱ 資格との関連：保育士・社会福祉主事							
学修上の助言				受講生とのルール			
・日頃から、子ども家庭福祉に関するニュースに目をとめてください ・配布プリントや資料はしっかりノートにまとめておくこと。				・授業に必要なもの以外は、机の上には置かないようにすること ・正しい姿勢で受講すること ・授業中の私語は慎み、積極的に受講すること。 ・欠席6週以上欠席すると、筆記試験を受けることができない			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	80	①	✓	①(1)「児童福祉」から「子ども家庭福祉」の変遷が述べることができる (2)「少子高齢化」の現状が述べられ、対策が考えることができる。 ②(1)「子どもにとって最善の利益」が考え述べることができる (2)「幼稚園」「保育園」「認定こども園」の法的根拠・対象が述べることができる ③(1)「子ども家庭福祉」に関わる行政機関や「児童福祉施設」の役割が説明できる。 (2)「児童相談所」の役割や「児童手当」などの社会手当について説明できる。 ④「母子保健」「ひとり親家庭」「虐待・DV」「非行少年」「障がい児」等に関する法律・制度を捉え、方策を考えることができる。 ⑤「子どもの貧困」の現状をと捉えた上で、方策を考えることができる。		
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
	平常評価	小テスト		0	①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		レポート		10	①	✓		毎週提示するリアクションペーパーをきちんと提出すること
					②	✓		
					③	✓		
					④	✓		
					⑤	✓		
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	(主体性) 課題に取り組むにあたって、必要な知識を教科書・文献を使って自己学修をすることができたか。 (実行力) 一度始めたことは最後までやり切ることができたか。 (課題発見力) 思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 (想像力) 物事を考える時に、固定概念に捉われないことなくいろいろな方向から考えることができたか。 (発信力) 予習や講義での身につけた知識を整理し、的確な文章で表現できる。 (傾聴力) 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。 (規則性) ・遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するルールを守ることができる			
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
下記の条件を満たして、S(秀)もしくはA(優)とする ①現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史的変遷が説明できる。 ②子ども家庭福祉と保育との関連性及び児童の人権が説明できる。 ③子ども家庭福祉の制度や実施体系等が説明できる。 ④子ども家庭福祉の現状と課題が説明できる。 ⑤子ども家庭福祉の動向と展望が述べることができる ※ 総合評価90点以上はS(秀)、89~80点をA(優)とする	下記の条件を満たして、B(良)とする ①現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史的変遷理解できる。 ②子ども家庭福祉と保育との関連性及び児童の人権が理解できる。 ③子ども家庭福祉の制度や実施体系等が理解できる。 ④子ども家庭福祉の現状と課題が理解できる。 ⑤子ども家庭福祉の動向が理解できる。 ⑥総合評価79~70点はB(良)、69~60点はC(可)とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	① 科目の概要や達成目標、評価方法について、理解する。 ② 子どもや家庭にとっての幸せを学ぶ ※DVD視聴「このどおり」	講義 DVD視聴 (Google formによるレポート作成)	①科目の概要や達成目標が理解できる ②子どもや家庭にとっての幸せを理解する。	(予習) シラバス、テキストの目次を熟読する (復習) 子どもにとっての幸せを確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	①子ども家庭福祉の意味・理念を学ぶ。 (福祉とは何か。日本国憲法第13条及び第25条など) ②子ども、家庭を取り巻く社会的状況(少子化、晩婚化など)について学ぶ	DVD視聴の感想をフィードバック 講義 リアクションペーパー (Google form) を作成	①子ども家庭福祉の意味を理解できる。 ②少子化・晩婚化について理解できる	(予習) ①福祉の意味を調べる ②少子化の現状を調べる (復習: NotebookLM活用) ①子ども家庭福祉の意味・理念を整理する。 ②子ども、家庭を取り巻く社会的状況をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	①イギリス・アメリカ、日本の子ども家庭福祉の変遷を学ぶ ②子どもの権利擁護について学ぶ ・児童の権利に関する条約 ・こども基本法 ・児童福祉法	講義 リアクションペーパー (Google form) を作成	①欧米や日本の子ども家庭福祉の歴史的な流れが理解できる。 ②児童の権利に関する条約の能動的権利について理解できる。	(予習) 子ども家庭福祉の歴史的変遷」の箇所を熟読する (復習: NotebookLM活用) ①欧米や日本の子ども家庭福祉の歴史的変遷をまとめる ②児童の権利に関する条約について、まとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	子ども家庭福祉の制度と法体系について学ぶ ① こども基本法、 ② 児童福祉法 ③ 児童福祉関係の法体系 ④ 各種手当法	講義 リアクションペーパー (Google form) を作成	①こども基本法・児童福祉法の理念が理解できる。 ②児童福祉関係の法体系が理解できる。 ③児童手当の概要が理解できる。	(予習) ①児童福祉法の理念について調べる。②児童手当について調べる (復習: NotebookLM活用) ①児童福祉法の概要をまとめる。②子ども家庭福祉関係の法律をまとめる。③児童手当を含む各種手当についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	子ども家庭福祉行財政と実施機関について学ぶ ①国における実施機関(子ども家庭庁、厚生労働省など) ②地方における実施機関(福祉事務所、児童相談所) ③子ども家庭福祉の財政	講義 リアクションペーパー (Google form) を作成	①こども家庭庁・厚生労働省の役割を理解する。 ②児童相談所および福祉事務所の役割を理解できる。 ③子ども家庭福祉の財政を理解できる。	(予習) ①こども家庭庁・厚生労働省を調べる。 ②児童相談所・福祉事務所を調べる。 (復習: NotebookLM活用) ①子ども家庭福祉の実施機関(国・地方)について、まとめる。 ②子ども家庭福祉にかかわる財源を調べる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	児童福祉施設の役割・機能について学ぶ。 (保育所、乳児院、児童養護施設、児童発達支援センター、障害児入所施設等)	講義 リアクションペーパー (Google form) を作成	それぞれの児童福祉施設の役割と機能が理解できる。	(予習) 児童福祉施設の定義を調べる。 (復習: NotebookLM活用) 児童福祉施設の目的、利用者、専門職についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	保育・教育施設の役割・機能を学ぶ。 ① 保育所 ② 幼稚園 ③ 認定こども園 ④ 地域型保育	講義 リアクションペーパー (Google form) を作成	①保育所・幼稚園・認定こども園の役割と利用者が理解できる。	(予習) ・幼稚園と保育所の定義及び利用者について調べる。 (復習: NotebookLM活用) ・幼稚園、保育所、認定こども園、地域型保育の概要をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	子育て支援サービスについて学ぶ ①エンゼルプランから新子育て安心プランまでの子育てに関する行政計画 ②地域子ども・子育て支援事業	講義 リアクションペーパー (Google form) を作成	①それぞれの子育てに関する行政計画の内容が理解できている。 ②地域子ども・子育て支援事業の意義と役割が理解できる。	(予習) エンゼルプランから新子育て安心プランの変遷を調べる。 (復習) 地域の子育て支援サービスを調べる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	母子保健の理念やサービスについて学ぶ ①母子保健の概要(母子保健法及び児童福祉法の内容) ②児童健全育成	講義 リアクションペーパー(Google form)を作成	①母子保健の理念と取り組みが理解できる ②育児休業制度が理解できる。	(予習) 母子保健の理念とサービス内容を調べる (復習) 地域の母子保健のサービス内容を調べる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	ひとり親家庭への福祉サービスについて学ぶ ①ひとり親家庭の現状 ②ひとり親家庭への支援	講義 グループワーク リアクションペーパー(Google form)を作成	①ひとり親家庭の現状が理解できる ②ひとり親家庭に対する支援が理解できる。	(予習) ひとり親の現状を調べる (復習: NotebookLM活用) ひとり親家庭に対するサービスをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	児童虐待とDVについて学ぶ ①児童虐待 ②DV(ドメスティック・バイアス)	講義 動画視聴 リアクションペーパー(Google form)を作成	①DVの現状と対策が理解できる。 ②児童虐待の現状と対策が理解できる。	(予習) 児童虐待やDV定義について調べる。 (復習: NotebookLM活用) 児童虐待やDV被害における子どもや保護者の影響を調べる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	①社会的養護の理念や概要について学ぶ (1)施設養護・家庭的養護 (2)家庭養護(里親・養子縁組) ②少年非行等への支援について学ぶ。 (1)少年法 (2)児童福祉法による自立支援	講義 グループワーク リアクションペーパー(Google form)を作成	①社会的養護の理念及びサービスの内容が理解できる。 ②少年非行に対しての社会サービスが理解できる。	(予習) ①社会的養護の理念や概要を調べる ②犯罪少年、触法少年、ぐ法少年について調べる (復習) ①社会的養護のサービスについて調べる ②非行少年に対する社会サービスについて、調べる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	障がいのある子どもの福祉・教育サービスについて学ぶ ①早期発見・療育 ②福祉サービス ③教育サービス	講義 リアクションペーパー(Google form)を作成	①障がい児への福祉・教育サービスを理解する。	(予習) 障がいの特徴について調べる (復習: NotebookLM活用) 障がい児への社会サービスをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	子どもの貧困家庭の現状・対応について学ぶ	講義 リアクションペーパー(Google form)を作成	貧困家庭の現状が理解できる	(予習) 絶対的貧困及び相対的貧困について、調べる。 (復習: NotebookLM活用) 子どもの貧困家庭の現状・対応についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	① 外国籍の子どもとその家庭の現状と対応について学ぶ ② まとめ	講義 リアクションペーパー(Google form)を作成	外国籍の子どもとその家庭への対応が理解する。	(予習) ①外国籍の子どもとその家庭の現状を調べる。 (復習: NotebookLM活用) ①外国籍の子どもとその家庭の現状をまとめる ②全15週の内容をまとめる	270	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力